

# 神戸大学大学院海事科学研究科前期課程研究発表会

## マリンエンジニアリング講座プログラム

2010年2月15日（月曜日）

第1会場 2号館3階 2305教室

(1-0) 副講座主任の挨拶と諸注意	8:50 – 8:55
(1-1) 藤岡 尊典 “偏心衝撃荷重下における三点曲げ破壊試験の高精度移動有限要素解析” 西岡 教授（藤本 准教授）	9:00 – 9:20
(1-2) 浅井 雄一 “熱伝導場における経路独立積分と六節点要素を用いた高精度解析” 西岡 教授（藤本 准教授）	9:20 – 9:40
(1-3) 其阿彌 敬祐 “死荷重による極めて遅いき裂進展現象の観察” 西岡 教授（藤本 准教授）	9:40 – 10:00
(1-4) 丹羽 隼 “応力腐食割れの破壊経路予測数値シミュレーション” 西岡 教授（藤本 准教授）	10:00 – 10:20
休息	10:20 – 10:25
(1-5) 野田 健介 “停止、再進展を繰り返すき裂曲進進展のメカニズム解明” 西岡 教授（藤本 准教授）	10:25 – 10:45
(1-6) 中野 雄 “個別要素法を用いた複雑変形挙動の解析” 西岡 教授（藤本 准教授）	10:45 – 11:05
(1-7) 西村 一輝 “傾斜機能材の高速き裂進展経路予測数値シミュレーション” 西岡 教授（藤本 准教授）	11:05 – 11:25
休息	11:25 – 11:30
(1-8) 崔 超 “移動ロボットのための要所地点認識法に関する研究” 山本 准教授（福岡 教授）	11:30 – 11:50
(1-9) 南方 佑輔 “自律移動ロボットのための色情報を用いた走行経路認識法の検討” 山本 准教授（福岡 教授）	11:50 – 12:10

## 昼食

12:10 – 13:20

(1-10) 佐々木 啓文

13:20 – 13:40

“三次元有限要素解析による軸継手用リーマボルトの力学特性に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

(1-11) 中山 聡

13:40 – 14:00

“三次元有限要素解析による管フランジ締結体の熱及び力学挙動に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

(1-12) 原 智史

14:00 – 14:20

“有限要素解析による外力を受けるボルト締結体の疲労強度評価に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

## 休息

14:20 – 14:25

(1-13) 瀧上 孝

14:25 – 14:45

“ねじ山らせんモデルによるボルト締結体の応力集中と疲労強度に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

(1-14) 簗田 陽星

14:45 – 15:05

“せん断荷重を受ける多数ボルト締結体の力学特性に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

(1-15) 西谷 裕介

15:05 – 15:25

“逆問題的手法による接触面剛性の評価方法に関する研究”

福岡 教授 (福田 教授)

## 第2会場

2号館3階 2306教室

(2-1) 世良 佑樹

9:00 – 9:20

“液体水素用超伝導  $MgB_2$  液面計の開発に関する基礎研究”

武田 教授 (福田 教授)

(2-2) 森田 剛至

9:20 – 9:40

“液体水素用超伝導  $MgB_2$  液面センサーの液面検知特性に対する外部ヒーターの影響”

武田 教授 (劉 教授)

(2-3) 西尾 善明

9:40 – 10:00

“閉ループ型二相サーモサイフォンによる船用機関機器の冷却に関する実験的研究”

福田 教授 (劉 教授)

(2-4) 大上 貴博

10:00 – 10:20

“ジメチルエーテルを利用したディーゼルエンジンの燃焼改善—燃料噴射圧力との相関—”

段 准教授 (藤田 教授)

(2-5) 置塩 空史 10:20 – 10:40  
“ディーゼルエンジンにおける直接混合方式によるジェットローファ油の有効利用”  
段 准教授 (藤田 教授)

休息 10:40 – 10:45

(2-6) 高山 敦好 10:45 – 11:05  
“沿岸域における船舶排ガス拡散シミュレーションの開発”  
藤田 教授 (三村 教授)

(2-7) 西川 嘉晃 11:05 – 11:25  
“大阪湾における船舶排ガスの影響予測法”  
藤田 教授 (劉 准教授)

(2-8) 松岡 隆史 11:25 – 11:45  
“石炭油の基礎的特性と大気汚染物質の排出特性”  
藤田 教授 (段 准教授)

休息 11:45 – 11:50

(2-9) 畝原 啓 11:50 – 12:10  
“加速器分析による排ガス中粒子状物質の分析”  
古山 准教授 (北村 教授、藤田 教授)

(2-10) 佐々木 悠 12:10 – 12:30  
“Pd ナノパウダの水素同位体ガス吸収における熱・放射線計測”  
北村 教授 (古山 准教授)

昼食 12:30 – 13:20

(2-11) 早野 大介 13:20 – 13:40  
“多層構造ラジエータを用いた中性子線量計レスポンスの制御”  
小田 教授 (山内 教授)

(2-12) 森 豊 13:40 – 14:00  
“PADC 薄膜中に形成される重イオントラックの構造解析”  
山内 教授 (小田 教授)

(2-13) 坂本 淳志 14:00 – 14:20  
“高分子材料中カーボネートエステル結合に及ぼす紫外線照射効果”  
山内 教授 (小田 教授)

(2-14) 近田 啓 14:20 – 14:40  
“PADC 飛跡検出器に吸蔵させた二酸化炭素の挙動と増感効果”  
山内 教授 (小田 教授)

### <諸注意>

研究発表を行う院生は当日 8 時 50 分に 2305 教室 (第 1 会場) に集合する。

副講座主任の挨拶と諸注意を聞いた後に各会場に別れる。

プロジェクターについては各会場の午前午後で最初に登壇する院生が所属する研究室が準備する。  
司会は研究指導教員が務め、その補助は研究室内の院生・学生が原則として行う。  
コンピュータについては可能な限り共同して使用する。

発表の持ち時間は1人当たり20分、うち15分を講演時間とし、残りを質疑応答や登壇者交替のための時間等に利用する。